

概要

川俣町役場から南の方を眺めると、高くそびえる台形の山が見える。このうち奥の方にそびえる高い山が「木幡山」であり手前に山の中腹まで見えるのが「福沢羽山」である。

福沢、大綱木、そして東和町木幡に囲まれたこれらの山であるが、平安末期と思われる三つに裂けた巨岩の祭祀遺跡と蔵王^{ぞおう}経塚^{きやうづか}、羽山信仰の羽山神社、尾根上に村境を示す塚が点在する、中腹より麓には、目の神様の日吉神社、山の神、栗和田経塚、仲平館跡など数多い歴史が刻まれている。また、羽山からの展望は素晴らしい、飽きることなく眺めつづけることのできる山である。川俣町の北半分と月館町、飯野町が一望でき誠に絶景である。

木幡山の山頂には二等三角点がある。

登山行程

〔大畑・下戸^{げとうち}内から山頂へ〕

東福沢字光内の阿武隈東部広域農道の下戸内バス停より南（最初は西へ）へ登ること約八百^{メートル}。とにかく下ることなく登り詰めると、林道大栗線が見える。大栗線に出てから左折して五十^{メートル}進んだところが、大畑登山口である。

いよいよ

ここからが登山道となるが、初めの五十^{メートル}ほどは、急な登り坂である。足元に注意しながらゆっくり登ろう。急

坂が終わるころ、右手から旧道が伸びてくる。途中で行き止まりとなるばかりか、林道大栗線に落ちてしまうので注意。道は、尾根に沿って六十^{メートル}ほど進んだところに分かれ道があるが、左寄りの道を道なりに登る。だんだ



羽山神社からの絶景